２０１９年度　恵那市立飯地小学校　学校経営の全体構想

恵那市の教育　基本理念とつけたい力

ふるさとを愛し、学び続ける人を育てる恵那の教育
―「主体性」「社会性」「郷土愛」―

【学校の教育課題】
- 自ら学ぶ力の育成と確かな学力を定着させること
- 他者に積極的にかかわろうとする気持ちと力を育成すること
- 将来の糧となる自己効力感と自己有用感を高めること
- ふるさとへの愛着と誇りを育むこと

【学校の教育目標】

夢をもち　懸命に生きる子

☆ 進んで学ぶ子
☆ 思いやりのある子
☆ 元気な子

【保護者の願い】
- 相手の気持ちを考え、思いやりをもってほしい
- 進んで学習に取り組み、いろいろな知識や方法を身に付けてほしい
- 自分の考えをもち、善悪の判断をして行動してほしい
- 元気で、思いを素直に表現できるようになってほしい

【キーワード】
―自分と人とふるさとのために強くなれ―

【経営の方針】
＊ 小規模・複式の利点を最大限生かし、**「自ら学ぶ力」と「共に学ぶ力」を高める学校**
＊ 自尊感情・自己有用感を高めると共に、**人権尊重の意識が風土として根づく学校**
＊ 地域・保護者とのつながりを大切にした**地域とともにある学校**
＊ 自らの特長を活かすと共に、同僚の個性を尊重し、**協働できる教職員集団**

【経営の重点】

《学びづくり》
① 子どもたちが主体的に学ぶ（複式）授業づくり
- 工夫した事象提示と主体的に学ぶための課題づくり
- 「教えること」「考えさせること」を明確にした指導
- 学び方を身に付けるための指導
- ICT を活用した学習過程の工夫
- 実態把握をもとにした個への指導・援助・支援

② 学力定着・向上を支える基盤づくり
- 学習規律（学習５つの約束）の徹底
- 日記の継続指導
- 表現タイムでの積み上げ
- 教科リーダーの育成
- 異学年交流活動
- 家庭学習の充実
- 読書活動の充実

《心づくり》
① 夢プレゼンツプロジェクト
- “本物”に触れる機会の充実
- ふるさとの活性化に触れる機会

② 相互理解を深め、よりよいかかわり合いができる複式学級づくり
- 道徳・学級活動の時間の充実
- 朝の会及び帰りの会の充実
- 違いを認め、尊重する心情の育成

③ 自ら動く力と思いやりの心を育てる異学年活動の充実
- 相手を尊重したあいさつ
- 相手の立場を考え、一人一人のよさを認めるなかよし班（縦割り班）活動の充実

④ 一人一人の自信を育てる場と活動の工夫
- よさをみつけ、よさを伝える活動
- 相手に伝わる堂々とした発表

《からだづくり》
① 体力を伸ばす活動の工夫
- 一輪車演技に向けての技能向上
- 日常的な運動遊びの推進
- テスト結果をもとにした自己課題をもった継続的な体力づくり
- 複式を生かした体育授業の充実

② 健康的な生活習慣の確立
- 各自の健康意識を高める保健学習の充実
- 家庭・地域・栄養教諭と連携した食育の推進

③ 身体を知り、自他の命を尊重する意識の高揚
- 命を守る訓練を通した避難行動の定着
- 校内・通学路での安全な行動の定着
- 自他の身体についての科学的知識の定着

《家庭・地域と連携したコミュニティづくり》
○ 飯地小学校コミュニティ・スクールの推進
- 本物を見たり、高い文化にふれたりする活動
- こども園・中学校及び中学校区（笠周子どもかがやきプラン）の連携
- 他校との交流活動（ICT 活用を含む）
- 地域人材の発掘と活用
- いいじっ子サポートの運用（学びサポート、心育てサポート、見守りサポート、環境サポート）

○ 学校運営協議会の運用
○ PTA 活動との連携
- 資源回収、環境整備作業
- 登校見守り運動

○ 町内各団体の活動への協力

【評価・改善】
- 期ごとの職員による評価と行動目標の具体化
- 行事ごとの評価
- 児童・保護者アンケート、懇談会、外部関係者評価等の活用
- 各種学力・学習状況調査の活用

【チーム飯地小（職員）】
- 互いを尊重し、創造的な教育実践を生み出す。
- 力を出し合い、学習指導、生徒指導、経営・分掌の力量向上に日々努める。
- 情報交流を密にし、連携して業務の効率化を図る。